

施策を構成する事業評価

No.	42	担当課	都市計画課
-----	----	-----	-------

1. 施策名

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	5	良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり
施策名	1	良好な住環境をつくります

2. 重点事業

事業名(中分類)	駅北地域整備構想検討事業		予算事業番号 (予算事業名)	8.4.1.108066(総合戦略・駅北構想策定事業費)									
事業指標	スケジュール(案)作成	現状値 (H27(2015))	実績値								目標値 37年度	達成 状況(%)	
	未実施	概略整備 計画作成	基本計画 調査実施	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	スケ ジュール (案)作成
事業概要	人口減少問題の対策を推進するとともに菊川市のさらなる発展に弾みをつけるインパクト事業として駅北整備構想を位置付け、新たな賑わいを駅北側に創出し職場と住居を含む市民の生活拠点を目指していく。												
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度には、平成29年4月に策定した駅北整備構想の実現化を目指し、まちづくりを着実かつ段階的に進めていく必要があることから、市における上位関連計画との整合を図りつつ、基本計画策定に向けた整備区域や整備手法等について検討を行い「駅北整備構想概略整備計画」を作成し、整備スケジュールとしては、駅舎の橋上化、南北自由通路の開設、駅前広場整備を短期計画、新市街地整備エリアを中期計画、西方地域は長期計画に位置付けた。 平成30年度には、短期計画に掲げた駅舎橋上化及び南北自由通路の開設について市としての方針を決定し、地元代表者で組織された駅北開発推進協議会や市民の代表者である議会に対して事業説明を行った。また、県及びJR東海と整備スケジュール等について協議を行い、11月に自由通路新設及び橋上駅舎化の基本計画調査をJR東海へ委託した。 												
課題・問題点等(C)	11月にJR東海へ基本計画調査を委託したが、調査位置や工期短縮の検討により不測の日時を要したため、次年度へ委託料を繰越した。												
今後の方向性(A)	JR東海からの成果品を受けた後、自由通路の位置等を考慮して北口駅前広場の検討を行い、都市計画決定図書の原案作成を行う。												

事業名(中分類)	住宅取得補助事業		予算事業番号 (予算事業名)	8.5.1.108064(総合戦略・菊川市住宅取得補助事業)									
事業指標	住宅取得補助制度の利用件数	現状値 (H27(2015))	実績値								目標値 37年度	達成 状況(%)	
	未実施	169	116	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	240件 (戦略期間 32年度)
事業概要	本市の人口増加、定住促進、活力に満ちた元気なまちづくりを推進を図るため、市内に住宅を取得した若者世帯に対して条件を満たす方に補助金を交付する。												
取組内容・結果等(D)	市の広報紙やホームページ、関係機関等へのチラシ配布等により事業のPRに努め、平成30年度は116件(一般世帯87件、三世帯同居・隣接29件)の補助金を交付した。事業を実施したことにより、平成30年度は147人の転入、243人の転出抑制、計390人の人口減少抑制が図られた。												
課題・問題点等(C)	本制度は市の総合戦略に位置付けられており、平成31年度が第1期総合戦略の最終年度となっているため、第2期総合戦略に向けて、本制度の継続や方向性について検討する必要がある。												
今後の方向性(A)	引き続き、広報紙やホームページによる事業周知を実施するとともに、関係機関等へのチラシ配布等により制度の周知に努め、本市における生産年齢人口の増加及び転出抑制を図る。												

事業名(中分類)	土地区画整理事業		予算事業番号 (予算事業名)	8.4.6.108065(総合戦略・区画整理事業)								
事業指標	赤土地内の都市計画道路整備率	現状値 (H27(2015))	実績値								目標値 37年度	達成 状況(%)
	17.0%	17.0%	0.0%	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度
事業概要	平成29年度において赤土地区での低・未利用地の利用促進を図るため、区画整理事業の検討を行ったが断念したため、平成30年度においては実施しなかった。											
取組内容・結果等(D)	良好な住環境をつくるためには区画整理のような面的整備手法が最適であり、区画整理事業の実施判断を庁内で検討したが、結果としては、治水対策に多くの費用を伴うことや、近年の地価動向を考慮すると費用対効果の面から区画整理事業の実施を平成29年度に断念したため、平成30年度においては実施していない。											
課題・問題点等(C)	区画整理事業の実施を断念したため、地域が求めている道路、公園等の整備について、どのような事業を実施し、土地利用促進を促す方策を検討する必要がある。											
今後の方向性(A)	住民へのアンケート結果を踏まえて、地域が求めている事業(幹線道路、区画道路、排水路、公園整備等)の整備箇所や整備手法の検討を行っていく。											

事業管理シート(施策)

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	5	良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり
施策名	1	良好な住環境をつくります

3.基本事業

事業名(中分類)	空き家対策事業	予算事業番号 (予算事業名)	8.4.1.108063(総合戦略・空き家等対策推進事業費) H30～
事業概要	適切な管理が行われていない空き家等が防災、衛生、景観等の面で地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしていることを鑑み、地域住民の生命、身体又は財産を保護するとともに、その生活環境の保全を図り、併せて空き家の活用を促進するための施策を総合的かつ計画的に進める。		
取組内容・結果等(D)	菊川市空き家等対策計画及び空き家の発生を抑制するための特例措置の制度周知のため、市ホームページへの掲載、官民協働発行による空き情報冊子の配布、広報菊川への掲載等を実施した。 市内全域の空き家の現状を把握するため、戸建住宅の空き家を対象とした実態調査を実施し、新たな空き家の発生や解体等による増減を空き家数へ反映し、台帳を更新した。また、平成29年度に内田、横地、小笠南地区、平成30年度に加茂、河城、平川・嶺田地区の現地調査を実施した。 相談窓口を都市計画課に設置し、平成30年度は114件の相談に対し、内容に即した対応を実施した。(現地確認、所有者等調査、助言・指導等)		
課題・問題点等(C)	空き家の削減及び特定空き家等の発生予防のため、空き家対策特措法の概要や空き家を放置することによるリスク、相談窓口の紹介、空き家に関する各種制度等の周知が必要である。 また、新たな空き家の発生や解体等による、空き家数の増減を把握するため、毎年定期的に実態調査による空き家数の更新が必要である。 相談窓口へは、多岐にわたる苦情・相談が寄せられ、その対応に苦慮している。また、周辺住民の生活環境に悪影響を及ぼす特定空き家等の判定を適正に行うため、県及び関係機関等との連携強化が必要である。		
今後の方向性(A)	空き家数増加の抑制を図るため、空き家等対策計画のとおり事業を継続する。 また、特定空き家等の判定を適正に行うため、平成30年度新規事業として、そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険な状態の空き家等について、建築士による現地調査及び判定を必要に応じて実施する。		

事業名(中分類)	土地利用規制等対策事業	予算事業番号 (予算事業名)	8.4.1.108067(都市計画調査事業費) 2.1.7.102857(土地利用対策総務費)
事業概要	市内の均衡ある発展と都市機能と自然環境が共生するまちを目指すため、都市計画法や各種法制度の適切な運用を図り、調和の取れた土地利用の誘導を図る。		
取組内容・結果等(D)	・菊川市土地利用事業の適正化に関する指導要綱に基づく指導として、事前協議等の審査13件、承認の審査14件、完了検査8件を実施した。 ・都市計画法に基づく開発許可として、新規許可3件、完了検査・完了公告2件を実施した。 ・国土利用計画法に基づく事務として、土地売買等届出書を18件受理し県へ進達した。		
課題・問題点等(C)	・近年、太陽光発電施設建設に伴う環境悪化の懸念や住民トラブルの発生が問題となっている。 ・宅地造成を目的とした土地区画整理地内や住宅系用途地域内で規制する手段が無いため、太陽光発電施設が建設され、当初の区画整理の目的や用途設定の効果が薄れてしまう。 ・定期借地で出店していた商業施設の撤退により、調整池が廃止され更地で地権者に返還されてしまうため、冠水傾向のある地域では影響が大きい。		
今後の方向性(A)	・環境推進課にて菊川市太陽光発電設備の適正導入に向けたガイドラインが作成されている。 ・借地に設置された調整池撤去について、引き続き、県及び近隣市町から情報収集し、今後、市としての考えを検討していく。		

事業名(中分類)	潮海寺地区計画推進事業	予算事業番号 (予算事業名)	8.4.5.108037 (社会資本整備総合交付金事業潮海寺地区計画)
事業概要	住環境や生活環境、防災機能の向上を図るため、潮海寺地区計画による狭あい道路の整備を地元組織のまちづくり推進協議会と協働で推進する。		
取組内容・結果等(D)	年12回のまちづくり推進協議会の運営を支援し、まちづくり事業の円滑な進捗を図った。 地区計画道路2-8号線について、用地買収及び工事を施工し、道路幅が完了した。 地区計画道路3-4号線について、測量、設計を行い、道路線形・構造が確定した。		
課題・問題点等(C)	事業が長期化しており、地元でのまちづくりに対する意識が低下しているように感じる。 現在活用している狭あい道路の国庫補助金が平成30年度で終了する予定であったが、平成31年度も継続されたがいつ終了するかわからないので財源確保のために別の国庫補助メニューを検討する必要がある。 現在第3期計画の4年目であるが、本第3期計画における整備率は約42%程度であることから、計画にかなりの遅れが生じている。		
今後の方向性(A)	毎月のまちづくり協議会により、地元でのまちづくりの意識が低下しないような工夫を地元役員と協力していく。 狭あい道路補助金に替わる国庫補助金メニューを検討していく。 次期第4次整備計画の検討をしていく。		

施策を構成する事業評価

No.	42	担当課	都市計画課
-----	----	-----	-------

1. 施策名

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	5	良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり
施策名	2	幹線道路や生活道路を整備します

2. 重点事業

事業名(中分類)	なし		予算事業番号 (予算事業名)									
事業指標	現状値 (H27(2015))	実績値									目標値 37年度	達成 状況(%)
		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度		
事業概要												
取組内容・結果等(D)												
課題・問題点等(C)												
今後の方向性(A)												

3. 基本事業

事業名(中分類)	計画道の整備事業	予算事業番号 (予算事業名)	8.4.2.108044 (社会資本整備総合交付金事業青葉通り嶺田線)
事業概要	主に歩行者の安全で安心な交通空間の確保のため、都市計画道路青葉通り嶺田線の整備を進める。		
取組内容・結果等(D)	主要地方道掛川浜岡線バイパスより東側区間 約L=96mの北側歩道・車道拡幅工事を発注し、工事完了した。 青葉橋より西側区間 約L=150mの南側歩道設置工事及び歩道・車道拡幅工事を発注し、工事完了した。		
課題・問題点等(C)	主要地方道掛川浜岡線バイパスとの交差点協議・信号機移設・ライン協議を公安委員会と協議が必要である。		
今後の方向性(A)	県協議・公安委員会協議を早期に行い、事業を進める。		

事業名(中分類)	計画の再検証・見直し	予算事業番号 (予算事業名)	8.4.2.108067(都市計画調査事業費)
事業概要	都市計画道路の多くは、高度経済成長期の市街地拡大や自動車交通の増大を前提に計画されており、その後の社会情勢や交通需要の変化に伴い、当初予定されていた役割や必要性に変化が生じ、既成市街地における事業の困難性や財政的な制約によって、長期間にわたり未着手の路線が存在するなど、その地域の特性や実現性を確認し、未着手・未整備となっている都市計画道路についての必要性及び合理性を再検証する。		
取組内容・結果等(D)	平成29年度には、関係機関協議や住民説明等を経て、都市計画道路の13路線(19区間)の見直しを行い、存続(8路線)、変更(2路線)、廃止(3路線)の原案を確定し、検証結果を平成30年3月27日に市ホームページへ公表した。 潮海寺地区の都市計画道路(2路線)の廃止に伴い、用途地域や潮海寺地区計画の変更が必要となったため、影響が生じる潮海寺地区等の住民や関係機関と協議を進め、都市計画決定の素案を作成した。 西方高橋線のルート変更に伴い、菊川運動公園の区域変更が必要となったため、課題を整理し都市計画決定の素案を作成した。		
課題・問題点等(C)	西方高橋線については、県道と重複するため道路管理者との協議が必要である。また、新たに交差点ができるので公安委員会との協議が必要である。		
今後の方向性(A)	関係機関との協議が整い次第、都市計画法に則った手続きを進めていく。		

事業管理シート(施策)

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	5	良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり
施策名	2	幹線道路や生活道路を整備します

事業名(中分類)	立地適正化計画策定事業	予算事業番号 (予算事業名)	8.4.2.108067(都市計画調査事業費)
事業概要	人口減少と少子高齢化を背景に、本市においても今後の人口減少が見込まれているため「選ばれるまち」としての良好な住環境を整備していくことが求められ、財政面、経済面においても安定した持続可能な都市経営を構築していかなくてはならない。 そのためには、駅などを中心とした拠点に、医療・福祉、子育て・教育、商業など生活に必要な機能を集約し公共交通で結ぶ、多極ネットワーク型のコンパクト化を目指した立地適正化計画を策定する。		
取組内容・結果等(D)	平成29年度には、立地適正化計画の策定に向け、福祉や教育、防災など幅広い分野に渡り全庁的に検討が必要であり、本計画の概要や意義について理解いただくため、庁内勉強会を開催し立地適正化計画に係る理解を深めてもらった。 平成30年度には、菊川らしい立地適正化計画を策定するために、基礎調査を実施し、各計画・施策の整理、課題の分析・抽出、まちづくりの方針(ターゲット検討)、目指すべき都市の骨格構造の検討、課題解決のために必要な施策・誘導方針の検討などをおこなった。		
課題・問題点等(C)	菊川らしい立地適正化計画を策定するため基礎調査結果を基に、誘導区域及び誘導施設等を検討する必要がある。		
今後の方向性(A)	①素案作成(令和1年度) 誘導区域、誘導施設の検討、誘導施設の検討、定量的な目標値等の検討、施策の達成状況に関する評価方法の検討、立地適正化計画(素案)作成 など ②計画作成(令和2年度) 立地適正化計画(計画書)の作成、立地適正化計画(概要版)の作成、住民説明、パブリックコメント、議会説明 など		

事業名(中分類)	計画道の整備事業	予算事業番号 (予算事業名)	8.4.2.108070 (県費補助青葉通り嶺田線)
事業概要	本路線は、牛淵川により分断されている東西市街地を結ぶ重要路線の一つであり、健全な市街地の発展のためには本路線の整備が欠かせないものである。現在牛淵川に掛かっている小松洗橋は幅員がW=3.5mと狭く交通の難所となっている。また、本路線は牛淵川西側の嶺田地区から牛淵川東側にある岳洋中学校への通学路になっていることから、朝の通勤・通学が重なる時間帯は危険であり、橋梁の改修及び歩道の設置が急務となっている。よって都市計画道路青葉通り嶺田線の整備を進める。		
取組内容・結果等(D)	平成31年度に行う、橋梁設計をL=45m行うための、県費補助金申請を行った。		
課題・問題点等(C)	主要地方道掛川浜岡線バイパスとの交差点県協議及び国土交通省との河川協議を行う必要がある。		
今後の方向性(A)	国土交通省・静岡県協議を行い、事業を進める。		

施策を構成する事業評価

No.	42	担当課	都市計画課
-----	----	-----	-------

1. 施策名

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	5	良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり
施策名	3	公園などの整備を進めます

2. 重点事業

事業名(中分類)	なし		予算事業番号 (予算事業名)									
事業指標	現状値 (H27(2015))	実績値									目標値 37年度	達成 状況(%)
		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度		
事業概要												
取組内容・結果等(D)												
課題・問題点等(C)												
今後の方向性(A)												

3. 基本事業

事業名(中分類)	公園整備事業	予算事業番号 (予算事業名)	8.4.7.108068(都市公園整備事業費)
事業概要	周辺住民の安らぎや憩い、活動の場となる公園の整備を推進する。		
取組内容・結果等(D)	都市公園13公園13箇所の照明灯についてLED交換工事を発注し、工事完了した。 菊川運動公園の健康遊具(うんてい)について更新工事を発注し、工事完了した。 下平川公園のブロック塀について目隠しフェンスへの改修工事を発注し、工事完了した。 柳2号公園のトイレについて多目的トイレへの改修工事を発注し、工事完了した。 和田公園の口池付近の橋梁、園内水路沿いの柵、南側駐車場の案内看板について修繕工事を発注し工事完了した。 仲島2号公園の照明灯2基について頭部交換工事を発注し、工事完了した。		
課題・問題点等(C)	経年劣化により通常の修繕では対応できないものが増えてきている。そのため計画的な施設の入替・再整備が必要である。		
今後の方向性(A)	保守点検結果や使用頻度等から優先度を決め、計画的に整備を進めていく。		

事業名(中分類)	公園の維持管理事業	予算事業番号 (予算事業名)	8.4.7.108045(都市公園管理費) 8.4.7.108046(その他公園管理費) 8.4.7.108801(公用車管理費(都市計画課)) 8.4.7.108858(公園管理総務費)
事業概要	市民が安全で利用しやすい環境を維持するため、自治会や任意団体と協働で公園の管理を進める。		
取組内容・結果等(D)	指定管理者との報告会を年17回行い、適正な公園の維持管理を行った。 自治会も含め17団体と公園管理に関する委託契約を締結し、適正な公園の維持管理を行った。 嘱託職員との連携を密にし、適正な公園の維持管理を行った。 造園業者及びシルバーに公園管理業務委託を発注し、適正な公園の維持管理を行った。		
課題・問題点等(C)	指定管理者と施設修繕について、費用面も含めて考え方に隔たりがあるため、今まで以上に協議を重ねていく必要がある。 市民の公園の維持管理に対する理解が深まり、17団体と委託契約を締結することができたが、地元に着している規模の小さい街区公園は、そのすべてを地元と協働による維持管理としていく必要がある。		
今後の方向性(A)	引き続き指定管理者と適正な公園管理を行っていく。 一つでも多くの公園で地元住民と協働による公園の維持管理ができるよう地元自治会等と協議を重ねていく。		

施策を構成する事業評価

No.	42	担当課	都市計画課
-----	----	-----	-------

1. 施策名

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	5	良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり
施策名	6	市営住宅を適切に維持管理し、長寿命化を図ります

2. 重点事業

事業名(中分類)	なし		予算事業番号 (予算事業名)										
事業指標	現状値 (H27(2015))	実績値										目標値 37年度	達成 状況(%)
		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度			
事業概要													
取組内容・結果等(D)													
課題・問題点等(C)													
今後の方向性(A)													

3. 基本事業

事業名(中分類)	市営住宅の長寿命化事業	予算事業番号 (予算事業名)	8.5.1.108053 (社会資本整備総合交付金事業市営住宅長寿命化)
事業概要	菊川市営住宅長寿命化計画の市営住宅の老朽状況を踏まえ、住棟ごとに改善、修繕等の活用手法を定め、効率的に実施することにより、良質なストックを効果的に長期活用するための方針、予防保全的な観点から修繕や改修の計画を定め、長寿命化によるライフサイクルコストの削減と、事業費の平準化等を図るため、上本所団地D棟改修設計及び同団地B棟改修工事を行い長寿命化を図る。		
取組内容・結果等(D)	菊川市営住宅長寿命化計画に基づき、上本所団地D棟の改修設計及び同団地B棟の改修工事を実施した。		
課題・問題点等(C)	国の補助金内示率の低下により、長寿命化工事の進捗に遅れが生じる可能性がある。		
今後の方向性(A)	耐震改修促進計画に基づき、既存建築物等の耐震化を進めていく必要があるため、積極的に国・県への要望を行う。		

事業名(中分類)	市営住宅の維持管理事業	予算事業番号 (予算事業名)	8.5.1.108049(市営住宅管理費)
事業概要	設備等修繕(電気設備、給水設備、消防設備、入居前の居室修繕など)を実施し、市営住宅を適切に維持管理する。		
取組内容・結果等(D)	市営住宅の修繕箇所については、平成30年度は電気設備、給水設備等95箇所修繕した。 電気設備、給水設備、消防設備については年間契約により適正に管理した。		
課題・問題点等(C)	市営住宅の修繕箇所については、平成30年度は95箇所と、前年度と比べ16箇所の増で、年々増加している。(平成28年度は59箇所、平成29年度は79箇所) 入居者からの連絡や、設備点検等により発覚した設備等修繕(電気設備、給水設備、消防設備、入居前の居室修繕など)を実施し、住みよい生活環境を維持している。しかし、市営住宅も昭和63年から平成15年にかけて建築された住宅であり、今後老朽化が進み、さらに修繕箇所が増加していくと分析している。		
今後の方向性(A)	老朽化した設備等を適正に更新するため、新たな財源を研究していく。		

施策を構成する事業評価

No.	43	担当課	建設課
-----	----	-----	-----

1. 施策名

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	5	良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり
施策名	2	幹線道路や生活道路を整備します

2. 重点事業

事業名(中分類)	掛川浜岡線バイパス整備事業		予算事業番号 (予算事業名)	8.2.1.108851(道路橋梁総務費) 8.2.3.108017(社会資本整備総合交付金事業市道赤土高橋線)									
事業指標	西方地区の事業着手	現状値 (H27(2015))	実績値									目標値 37年度	達成 状況(%)
		未着手	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	菊川運動公園から掛川方面への事業着手	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 掛川浜岡線バイパスは掛川(西方)側の早期事業着手するため、現在実施している御前崎(浜岡)側の赤土高橋線の完成を目指している。 掛川浜岡線バイパス事業の県施工区間において、県及び地元との連絡調整を行うとともに、掛川浜岡御前崎バイパス建設促進期成同盟会にて県への要望活動を実施し、事業の推進を図る。 												
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> 赤土高橋線は平成30年度に307mの築造工事等を実施し、平成30年度末時点の進捗率は65.5%になっている。 掛川浜岡御前崎バイパス建設促進期成同盟会の活動として、総会の開催、現地踏査、県への要望活動などを行った。 												
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> 掛川(西方)側の事業着手をするためには、現在事業実施中の赤土高橋線の整備を進め、県施工区間へ接続しなければならない。 												
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> 県と市の事業区間について再検討を行い、県と連携して赤土高橋線の早期完成を図るとともに、引き続き、掛川浜岡御前崎バイパス建設促進期成同盟会にて要望活動を行っていく。 												

3. 基本事業

事業名(中分類)	市単独道路整備事業		予算事業番号 (予算事業名)	8.2.2.108009(道路維持管理費) 8.2.3.108012(市単独市道改良整備事業費) 8.2.3.108013(市単独市道舗装改良等整備事業費) 8.2.3.108014(市単独市道整備補助事業費) 8.2.3.108052(社会資本整備総合交付金事業市道大須賀金谷線)									
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 市単独道路維持整備事業 市単独市道改良整備整備事業 市単独市道舗装改良等整備事業 市単独市道整備補助事業 社会資本整備総合交付金事業市道大須賀金谷線 												
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> 市道の維持整備事業として側溝や溝蓋の修理、舗装の穴埋めや改良工事を実施し、市内全域の道路施設の維持を図っている。生活道路である市道の拡幅などの改良は平成30年度に14路線の工事を実施した。また、地域に密着した生活道路の改良として8路線の改良工事費に対して補助している。地域幹線道路である大須賀金谷線は、用地、物件補償の契約を進めており、用地取得率については平成30年度末に91%になっており、一部工事に着手しました。 												
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> 生活道路を良好に保つためには道路監視の体制をさらに強化することが望ましい。また交通形態は各種事業や開発などにより変化するものであるため計画的な整備が必要である。 												
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> 連絡体制の円滑化を図り、現在の道路パトロールと連携を図る中で、良好な道路維持につなげていく。また、生活道路の改良工事について、各地区からの申請について効率的な実施を図っていく。 												

施策を構成する事業評価

No.	43	担当課	建設課
-----	----	-----	-----

1. 施策名

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	5	良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり
施策名	5	橋梁や道路施設を適切に維持管理し、長寿命化を図ります

2. 重点事業

事業名(中分類)	橋梁や道路施設の長寿命化事業		予算事業番号 (予算事業名)	8.2.2.108054 (社会資本整備総合交付金事業道路橋梁長寿命化)									
事業指標	橋梁定期点検の実施率	現状値 (H27(2015))	実績値									目標値 37年度 (H35年度)	達成 状況(%)
		18.0%	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	100%	
事業概要	<p>・平成25年6月の道路法改正に伴い、平成26年度から5年に1回の頻度で、近接目視による点検が義務化された。菊川市管理橋梁615橋について、近接目視による点検1巡目を平成30年度に完了した。引き続き2巡目以降の点検を行うとともに、健全性の診断に伴い優先順位を付けて修繕を実施する。</p>												
取組内容・結果等(D)	<p>・平成30年度3月末における橋梁点検数は615橋(H26実施 5橋、H27実施 115橋、H28実施 340橋、H29実施 90橋、H30実施65橋)。 ・点検結果は、I評価(健全)が248橋、II評価(予防保全段階)が353橋、III評価(早期措置段階)が14橋、IV評価(緊急措置段階)が0橋となっている。III評価の橋梁については、5年以内の対策実施が求められており、平成28年度に1橋、平成29年度に1橋、平成30年度に7橋の対策工事を実施。</p>												
課題・問題点等(C)	<p>・橋梁点検を5年に1回の頻度で業務委託で対応するのは、経常的経費が膨大になるため、小規模な橋梁については、職員直営による橋梁点検を平成31年度から実施する。 ・職員直営による橋梁点検に向け、国や県が開催する研修会に参加し、橋梁点検を行える職員の育成が急務となっている。なお、現時点において6名の職員(内建設課在籍4名)が研修を受講した。</p>												
今後の方向性(A)	<p>・引き続き、安全で快適な道路環境を維持するため、近接目視による橋梁点検を実施し、健全性を判断し、損傷が軽微なうちに損傷の進行を防止するための予防保全的な対策を実施していく。 ・継続的に職員直営による橋梁点検を実施していくため、国が実施する橋梁点検研修に参加していく。 ・平成28年度における橋梁点検数が、340橋と偏りがあるため、平成31年度からの5年間で職員直営による橋梁点検にあわせ、各年度の橋梁点検数の平準化を図る必要がある。</p>												

3. 基本事業

事業名(中分類)	なし	予算事業番号 (予算事業名)	
事業概要			
取組内容・結果等(D)			
課題・問題点等(C)			
今後の方向性(A)			

施策を構成する事業評価

No.	44	担当課	農林課
-----	----	-----	-----

1. 施策名

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	5	良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり
施策名	3	公園などの整備を進めます

2. 重点事業

事業名(中分類)	なし		予算事業番号 (予算事業名)										
事業指標	現状値 (H27(2015))	実績値									目標値 37年度	達成 状況(%)	
		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度			
事業概要													
取組内容・結果等(D)													
課題・問題点等(C)													
今後の方向性(A)													

3. 基本事業

事業名(中分類)	農村公園の維持管理事業	予算事業番号 (予算事業名)	6.2.3.106031(農村公園管理費)
事業概要	・農村公園を快適に、安全に使用していただくため、美化に努め、事故防止を図る。		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ清掃、除草、樹木剪定を自治会やシルバー人材センターに委託し、公園の美化を図った。 ・公園内にある遊具の保守点検及び砂場の大腸菌検査を実施した。 ・保守点検により、修繕の必要があるものについて修繕工事を実施した。 		
課題・問題点等(C)	・公園内遊具は老朽化が進み、修繕箇所が増えてきている。今後は修繕が効かなくなることも考えられる。		
今後の方向性(A)	・今後も継続し、公園の美化及び事故防止に努める。		

施策を構成する事業評価

No.	45	担当課	地域支援課
-----	----	-----	-------

1. 施策名

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	5	良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり
施策名	4	交通事業者と連携して交通手段の確保に努めます

2. 重点事業

事業名(中分類)	コミュニティバス等利用促進事業		予算事業番号 (予算事業名)	2.1.9.102055(コミュニティバス推進費)										
事業指標	利用者数	現状値 (H27(2015))	実績値									目標値 37年度	達成 状況(%)	
			29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度			
		H26実績 1日平均 乗車数 135.11人	H29実績 1日平均 乗車数 126.90人	H30実績 1日平均 乗車数 130.36人									現状維持	
事業概要	コミュニティバスを運行するとともに、これに伴う管理運営、利用者拡大、運行見直しを実施する													
取組内容・結果等(D)	「きくがわフューチャーセンター」を開催し、「菊川市の公共交通」について話し合いました。公共交通の利用実態及びニーズに係る調査として、市民アンケート・コミュニティバス利用実態調査、JJR菊川駅利用実態調査・地区等意見交換会・主要施設ヒアリング調査を実施した。コミュニティバスの運行見直しとして、停留所の名称変更について審議し、翌年度の運行改訂から実施することとした。													
課題・問題点等(C)	高齢化や核家族化が進展する中、買い物や通院、通学などの日常生活を行うための移動手段として公共交通が持つ役割は重要ですが、公共交通の利用者が減少すれば、公共交通でカバーされるネットワークが減少したり、サービス水準の低下が進んだりする恐れがある。													
今後の方向性(A)	2020年からの公共交通の在り方などを検討するため、「公共交通網形成計画」の策定を進める。													

3. 基本事業

事業名(中分類)	民間路線バス等の維持		予算事業番号 (予算事業名)	2.1.9.102058(バス路線維持対策費)										
事業概要	バス事業者が撤退した萩間線を、生活交通を確保するために牧之原市・島田市・菊川市の3市共同で運行し、しずてつジャストライン株式会社に運行を委託している。運行経費は、市内走行距離に応じて、3市で負担している。菊川浜岡線は、菊川駅から浜岡営業所を結ぶ路線をしずてつジャストライン株式会社が運行している。静岡県生活交通確保対策協議会や生産性向上の取組を検討するワーキンググループで利用者確保への取り組みを検討し、市作成のコミュニティバス時刻表にしずてつジャストラインの運行路線を記載するなど協力して利用者拡大につとめた。													
取組内容・結果等(D)	民間バス等利用実態調査(路線バス・菊川浜岡線、自主運行バス・萩間線)を行った。交通事業者(4社)に対してヒアリングを行った。													
課題・問題点等(C)	年間利用者数は菊川浜岡線が微減、萩間線が微増傾向となっているが、収支状況を見ると、2路線合計の行政負担額は増加傾向となっており、収支率は年々悪化している。													
今後の方向性(A)	2020年からの公共交通の在り方などを検討するため、「公共交通網形成計画」の策定を進める。													